

【様式】

政務活動一覧

旅行期間	活動日時	活動先			政務活動の内容	関連領収書番号
		住所	活動先の名称	対応部局等		
R5. 7. 24 ～28	R5. 7. 25 11:00 ～16:00	モンゴル国	中央県ゾーン モド市、マンズ ッシリ等	モンゴル日本 語学級等	日本語学級生 徒との交流	活動報告 (国外)の とおり
	R5. 7. 26 10:00 ～15:00	モンゴル国	ウランバート ル市等	在モンゴル日 本国大使館等	在モンゴル日 本国大使館訪 問、日本人慰霊 碑参拝	活動報告 (国外)の とおり
	R5. 7. 27 11:00 ～15:00	モンゴル国	中央県ゾーン モド市等	モンゴル中央 県知事等	中央県 100 周 年記念事業、中 央県訪問、鳥取 県とモンゴル 中央県との友 好交流 25 周年 式典参加	活動報告 (国外)の とおり
	R5. 11. 10	湯梨浜町、米子 市	鳥取県栽培漁 業センター、 (株)日本養魚 技術、弓ヶ浜水 産(株)	センター長、社 長、部長、ほか 関係者	鳥取県の水産 業の発展のため の視察調査	1105, 1106
R5. 11. 12 ～15	R5. 11. 13 10:30 ～15:00	東京都千代田 区	都道府県会館、 衆議院第二議 員会館	地元選出国会 議員、国交省道 路局 岸川次 長、内閣官房 渡辺企画官ほ か関係職員	米子道整備促 進のための要 望・調査、緊急 時の避難施設 に関する視察 調査	活動報告 (県外) 1 のとおりに
	R5. 11. 15 13:30 ～15:00	東京都文京区	東京大学工学 系研究科	東京大学工学 系研究科 渡邊 教授、公益社団 体法人地盤工学 会 古関会長	公共工事にお ける切土・盛土 及び液状化に 関する視察調 査	活動報告 (県外) 2 のとおりに

R6. 1. 31 ～2. 1	R6. 2. 1 9 : 00 ～9 : 50	鳥取市	議会棟	教育委員会 足 羽教育長ほか 関係職員	総務教育常任 委員会勉強会 （「県立高校の 在り方に関す る基本方針 （案）」につい て）	110, 111
	R6. 2. 1 10 : 00 ～16 : 05	鳥取市	議会棟	鳥取県庁執行 部（担当部局）	2月定例会関連 主要事業説明 会（1日目）	
	R6. 2. 2 10 : 00 ～15 : 10	鳥取市	議会棟	鳥取県庁執行 部（担当部局）	2月定例会関連 主要事業説明 会（2日目）	

- ・交通費（JR等運賃、タクシー代、駐車場代）、宿泊費、会議等への参加費及び会議の開催経費（会場代、講師謝金等）に政務活動費を充当する場合に記載すること。
- ・移動日等も含め政務活動が複数日に渡る場合は、移動日等を含めた「旅行期間」と実際の政務活動を行った「活動日時」を記載すること。なお、旅行期間が1日である場合は、旅行期間欄は空欄とし、活動日時欄の時間は記載不要とする。
- ・県外及び国外での政務活動については、別途「活動報告（県外・国外）」を提出すること。

活動報告(国外)

議員名：河上 定弘

活動事項	モンゴルとの国際交流に関する調査
活動年月日	令和5年7月24日(月) 移動日、宿泊 同上25日(火) 11:00~15:00 政務活動、宿泊 同上26日(水) 9:30~15:00 政務活動、宿泊 同上27日(木) 11:00~15:00 政務活動、宿泊 同上28日(金) 移動日
場 所	モンゴル国 ウランバートル市、中央県ゾーンモド市
活動の相手方	モンゴル中央県 ムンフバートル知事・マグナイバヤル行政管理部長・行政関係者、 モンゴル日本語学級 生徒・保護者・教職員、在モンゴル日本国大使館 小林特命全 権大使・片野田三等書記官、鳥取県への元留学生など
活動の目的	鳥取県とモンゴル中央県との友好交流25周年記念式典及び、モンゴル中央県設立 100周年記念事業に出席するとともに、鳥取県モンゴル中央県親善協会が主催する 鳥取県とモンゴル中央県との市民レベルでの友好交流事業などに参加し、一層の友 好親善を図り、今後の人的交流や教育・人材育成などに関して調査、研究する。
活動の内容	<p>[25日]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語学級生徒とその保護者、教職員との交流 歓迎式、日本語弁論大会、ミニ運動会、日本料理体験、交流昼食会、 マンズッシリ寺院散策 <p>[26日]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在モンゴル日本国大使館訪問 面談及び意見交換 小林 弘之 特命全権大使、片野田 智樹 三等書記官 ・ダンバダルジャー日本人慰霊碑参拝、記念植樹 ・モンゴル国立民族歴史博物館、モンゴル国立劇場観覧 <p>[27日]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モンゴル中央県100周年記念式典参加 ユネスコの無形文化遺産ナーダム観覧 ・鳥取県とモンゴル中央県との友好交流25周年記念式典参加、 歓迎式、ムンフバートル知事との意見交換

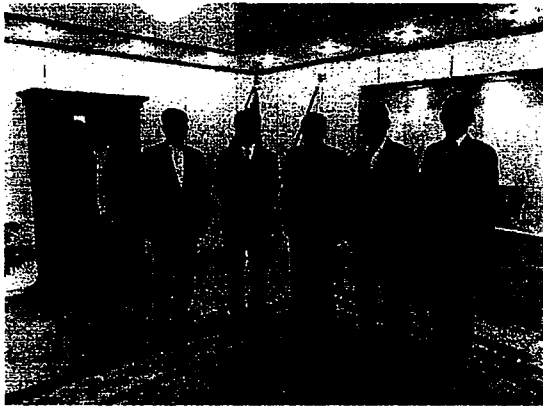
<p>活動の結果等</p>	<p>日本語学級での交流を通じて、モンゴルの子供たちの、日本や日本人に対する率直な思いに触れ、更に、亀井副知事・ムンフバートル知事参加の、鳥取県とモンゴル中央県の友好交流 25 周年記念式典に参加し、意見交換・交流などを通じて、国際交流の加速の重要性を再認識することができた。交流の歴史を積み上げてこられた関係者の方々への敬意と感謝の思いを改めて実感した。個人的にも、モンゴルの文化、歴史に触れ、親近感を覚えるとともに、この経験が今後の交流の一助となればと思う。</p> <p>また、中村町長をはじめ日南町の訪問団も同行され、日南町役場には日本語学級の卒業生が勤めているなど、既に深い交流があるが、中山間地の人材不足の中でモンゴルの留学生などへの期待もあるとのことで、その取り組みへの支援はもちろん、県としての新たな取り組みも模索していきたい。</p> <p>小林特命全権大使との面談では、モンゴル国の現状と今までの日本との関係、そして、今後の可能性などに関して伺い、意見交換を行った。歴史的経緯により親日であることや、モンゴル国の経済、社会状況などを勘案して、特定技能制度などを活用しての人材の受け入れ促進の可能性は大いにある。また、環境やインフラ整備の援助などに関与することも、日蒙双方にとってメリットがあると感じた。これまでの国際交流を活かし、鳥取県がどう関与できるかについて検討していきたい。</p>
<p>関連領収書番号</p>	<p>810</p>



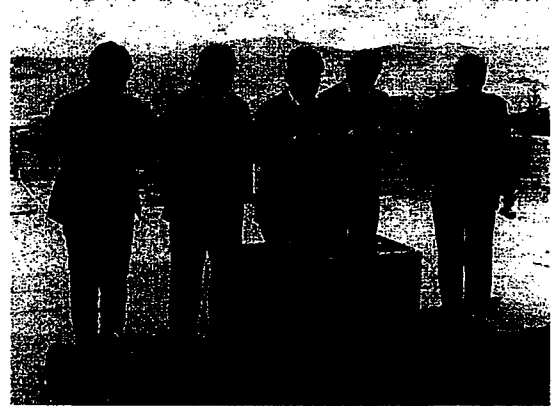
日本語学級訪問



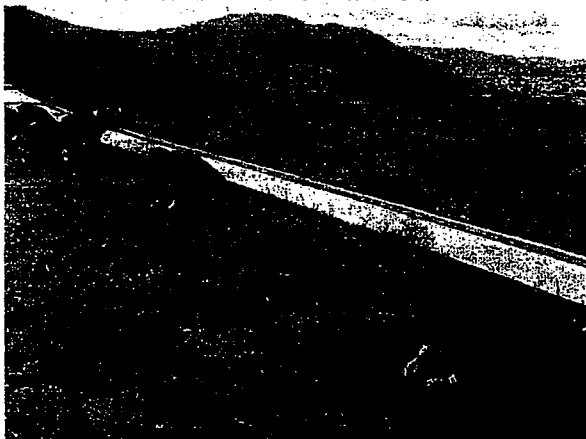
日本語学級（日本料理体験）



在モンゴル日本国大使館訪問
（小林 弘之 特命全権大使）



ダンバダルジャー日本人慰霊碑参拝



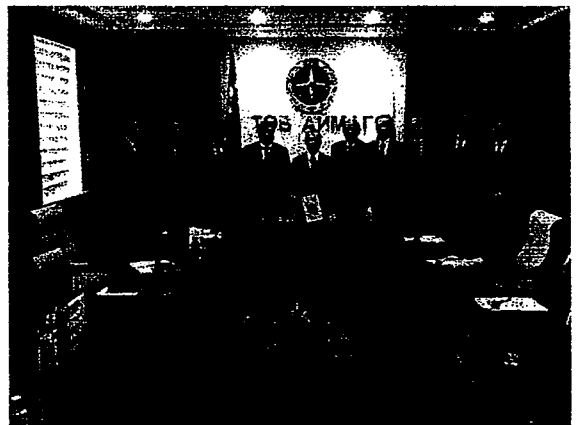
ダンバダルジャー日本人慰霊碑参拝（記念植樹）



モンゴル中央県 100 周年記念式典参加



鳥取県とモンゴル中央県との友好交流 25 周年記念式典
（意見交換会）



ムンフバートル知事、亀井副知事と

【様式】

活動報告（県外） 1

議員名：河上 定弘

活動事項	米子道整備促進のための調査・要望、及び、緊急時の避難施設に関する調査
活動年月日	R5年11月12日（日） 移動日、宿泊 同上13日（月） 10:30～15:00 政務活動
場所	都道府県会館、衆議院第二議員会館（東京都千代田区）
活動の相手方	赤沢衆議院議員、青木参議院議員、舞立参議院議員、藤井参議院議員、国土交通省道路局 岸川次長、四童子室長、内閣官房副長官補付 渡辺企画官ほか関係職員
活動の目的	調査、要望を通じて、中国横断自動車道岡山米子線（米子道）の全線4車線化早期供用開始、米子～境港間の高規格道路早期事業化に結び付けること、また、防災・安全保障にかかる避難施設の現状の国の取り組み状況の調査を行い、今後の県施策への提言・反映などに繋げることを目的とする。
活動の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・米子道4車線化事業の進捗状況を確認するとともに、米子～境港間の高規格道路も含まれる中海・宍道湖8の字ルート整備促進に向け、関係者から話を伺い、米子道の全線4車線化早期供用開始、及び、米子～境港間の高規格道路早期事業化に向け、国交省に対して強く要望し、意見交換を行った。 ・防災、及び安全保障の観点から避難施設（シェルター）についての国の考え方や施策に関してヒアリングし、今後の課題や取り組み方針などに関して意見交換を行った。
活動の結果等	<ul style="list-style-type: none"> ・米子道の4車線化事業の現在の実施状況を把握することができた。R431号の渋滞緩和と、境港の港湾施設を活用した物流の利活用推進のために、中海・宍道湖8の字ルート整備促進の一環としての米子～境港間の高規格道路の早期事業化に向け、今後の議会活動等に反映させるとともに、関係各所に積極的に働きかけを行っていきたい。 ・安全保障上、将来に備えて整備する必要があると考えられる避難施設（シェルター）について、定義の明確化と、それに伴う今後の方針について理解することができた。今後、県内で一定期間滞在可能な頑丈な避難施設の実態調査の実現や、必要な取り組みに関して議会活動等に反映させていきたい。
関連領収書番号	1107

【様式】

活動報告（県外） 2

議員名：河上 定弘

活動事項	公共工事における切土・盛土及び液状化に関する視察調査
活動年月日	R5年11月14日（火） 宿泊 同上15日（水） 13:30～15:00 政務活動
場所	東京大学工学系研究科（東京都文京区）
活動の相手方	東京大学工学系研究科社会基盤工学専攻 渡邊 健治 教授、公益社団法人地盤工学会 古関 潤一 会長ほか研究員
活動の目的	公共事業における切土、盛土の特性、評価について、また、液状化対策に関する研究や取り組みについて意見を伺い、県内の必要と思われる箇所や事業に対しての提言等に繋げる。
活動の内容	切土、盛土に対する特性や設計時の評価手法などについてヒアリングを行った。 また、最先端の液状化に関する基礎研究施設を視察し、液状化に関する研究や取り組み事例に関して意見交換を行った。
活動の結果等	公共事業を行う際、特に切土に関しての設計の重要性、また実際に問題が起きた時の対応などについて学ぶとともに、液状化に対する最先端の基礎研究や対策などについてレクチャーを受けた。今後、災害発生時などの県の対応などに議会活動等を通じて反映させていきたい。
関連領収書番号	1108